

16 専門教科 家庭

<目次>

- 1 「指導と評価の年間計画及び評価規準の作成の手引き」
P 1 ~ 2
- 2 「指導と評価の年間計画」
生活産業基礎 P 3 ~ 4
- 3 「单元ごとの指導と評価の計画」
生活産業基礎 P 5 ~ 1 2

科目の目標

科目の評価の観点及びその趣旨

内容のまとめごと

目標

評価規準

单元ごと

目標

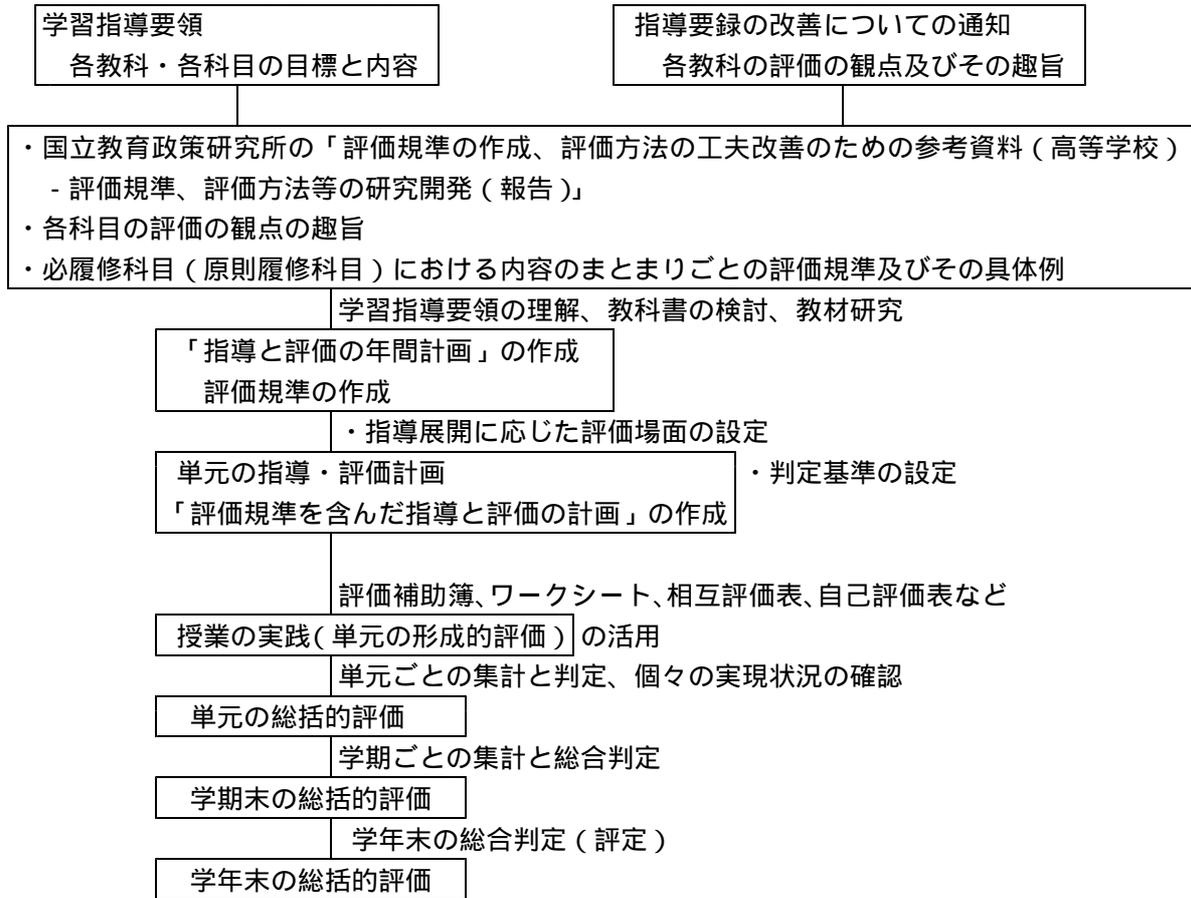
評価規準

各授業時間ごとの主な内容

授業指導案例

1 指導と評価の年間計画及び評価規準の作成の手引き

1 学習指導要領の分析から総括的評価までの一連の評価活動の流れについて



(1) 「指導と評価の年間計画」について

これは(2)の「評価規準を含んだ指導と評価の計画」の全単元について、その概要を記述したものである。

生徒の学習活動に対するより適正な評価、及び児童生徒の学習の改善に生かされる評価(指導と評価の一体化)の実現を目指して、次の特色をもった年間計画となっている。

これまで作られてきた指導計画は、多くの場合、授業内容(指導内容)を単に1年間の授業時間数に対して配分しただけに留まったが、この計画は、指導内容(理論と実験・実習)、学習のねらい、観点別の評価規準も含めて記述してある。

評価の方法を記述し、評価から評定への道筋が明確でありかつ説得力をもつように記述してある。

(2) 「評価規準を含んだ指導と評価の計画」について

学習指導要領に基づく「評価規準を含んだ指導と評価の計画」は、言い換えれば、評価規準を盛り込んだ「単元ごとの指導と評価の計画」である。次の特色をもつ。

科目全体の評価規準を示した。

「単元ごとの評価規準」及び単元の「各授業時間ごと主な内容」を示した。

各授業時間ごとの主な内容には、「主な学習内容」と「主な学習活動・評価の観点」及び「評価の方法・指導」を示した。

「主な学習活動・具体的評価規準」は、上記の「指導と評価の年間計画」の「評価規準」に反映されていなければならない。

「主な学習活動・具体的評価規準」は、上記の「単元ごとの評価規準」の4観点を具体化したもの

専門教科「家庭」

でなければならない。

単元ごとの評価規準（例）

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
A	B	C	D

各授業時間ごとの主な内容

1 項目名 (授業名)			
	主な学習内容	主な学習活動・具体的評価規準	評価方法
第1 時間 目	・学習内容の主な項目を記載	・上記Aの具体的な内容【関】 ・上記Bの具体的な内容【思】 評価の観点は次のように略記 【関心・意欲・態度】 = 【関】 【思考・判断】 = 【思】 【技能・表現】 = 【技】 【知識・理解】 = 【知】	・評価の具体的な方法

(3) 「評価規準の作成の手引き」

評価規準については、次の内容構成で作成する。

以下に記述されている、「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料（高等学校） - 評価規準、評価方法等の研究開発（報告） - 」は国立教育政策研究所のホームページに掲載されている。

- ・ 科目の目標 ……学習指導要領に示す当該科目の目標
- ・ 科目の評価の観点及びその趣旨
 - ……学習指導要領及び指導要録改善通知に示された当該教科の評価の観点及びその趣旨をもとに作成
 - 具体的には、「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料（高等学校） - 評価規準、評価方法等の研究開発（報告） - 」に記載されたもの。
 - ・ 内容のまとめりごとの評価規準……内容のまとめりごとに4観点別に示した評価規準
 - 「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料（高等学校） - 評価規準、評価方法等の研究開発（報告） - 」に記載されたもの
 - 生活産業基礎においては、学習指導要領の内容の（1）や（2）などの大項目を内容のまとめりとしている。
 - ・ 単元の目標 ……実際の使用教科書等に基づいた授業の進度に沿って単元ごとに示した目標
 - 学習指導要領の項目ごとのねらいを基本に記載
 - ・ 単元の評価規準……単元ごとに4観点別に示した評価規準。「内容のまとめりごとの評価規準」を単元の内容に即して具体化したもの。
 - 「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料（高等学校） - 評価規準、評価方法等の研究開発（報告） - 」に「内容のまとめりごと」の「評価規準の具体例」として記載されたものを基本に記載
 - ・ 各授業時間ごとの具体的評価規準と方法
 - ……各授業時間ごとに、単元ごとの評価規準に基づく具体的な評価規準とその方法を示したもの

2 指導と評価の年間計画（2単位） （第1学年用）

教科名	家庭	科目名	生活産業基礎	2単位	使用教科書	生活産業基礎（文部科学省著作）	学年・学級	年組	指導者
目標	生活と産業とのかかわりについて理解させ、生活に関連する職業などへの関心を高めるとともに、必要な知識と技術を進んで習得しようとする意欲と態度を育てる。								
【学習指導要領】									
到達目標に向けての具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活の変化に気付かせるよう、各自の生活を振り返ったり、生活時間調査、家計調査などの生活にかかわる各種調査を基に調べ学習をさせる。 ・生活産業の種類や特徴、関連する職業については、社会人講師の講話や産業現場等の見学、就業体験、調査などを取り入れて、具体的・体験的に理解させる。 ・見学、就業体験、調査などの成果を発表させることを通して生活産業への関心を高めさせる。 ・職業生活が自己実現につながることを、社会人講師の講話や討議などを通して、具体的・体験的に認識させる。 ・専門科目の学習と職業生活とのかかわりや、職業における職業資格の意義について考えさせる。 ・職業資格の取得や将来のスペシャリストを目指した学習プランを学習の導入とまとめに立てさせることなどを通して、専門科目への学習に向けての意欲を高めさせる。 								
【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】									

70

月	単元名	指導内容		時	ねらい	評価規準				評価方法
		理論	実験・実習			関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
4月	第1章「生活産業基礎」を学ぶに当たって	生活産業基礎を学ぶ目的	生活産業に関する認識調査	2	生活産業基礎を学ぶ目的を理解する。	「生活産業基礎」をはじめとする専門科目の学習と職業生活とのかかわりや、職業と職業資格について関心をもち、学習プランを立てようとしている。	「生活産業」の従事者に求められる深く考えている。	本学科の3年間の学習内容から、自分の就きたい職業にむけ、3年間の学習プランを立てることができる。	「生活産業基礎」を学ぶ目的、生活産業の内容と社会的意義、生活産業で働く人に求められる資質や能力を理解している。	アンケート調査 学習プリント（学習プラン） 行動観察
		生活産業の内容と社会的意義	生活産業従事者への聞き取り調査							
5月	第2章社会の変化と生活産業	生活と産業とのかかわりと生活産業の種類	生活と産業とのかかわり調査	1	生活を支える産業の意義や役割について理解を深める。	実際の生活や学校所在地近郊の地域マップの作成等から、衣食住などの生活と様々な産業とのかかわりについて関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	技術革新の進展、国際化、情報科、少子高齢化などの社会の変化とライフスタイルの変化、価値観の多様化、消費者のニーズの多様化・高度化などについて、身近な事例を通して考えを深めている。	技術革新の進展、国際化、情報化、少子高齢化などの社会の変化とライフスタイルの変化、価値観の多様化、産業構造の変化と生活産業の発展について調べ、まとめたり発表したりすることができる。	社会の変化について理解している。	学習プリント確認 行動観察 調べ学習への取組 レポート 発表
		経済の発展とライフスタイル	生活産業地域マップ作成	2	経済の発展に伴う家庭生活全般の変化について理解し、ライフスタイルとの関連について関心をもち、					
		豊かさや多様なライフスタイル	地域の伝統的産業の聞き取り調査	2	「豊かさ」とは何かを考える。					
		社会の変化とライフスタイル	「豊かさを考える」作文	3	これからの社会の変化に対応したライフスタイルについて興味をもち、生活に関する職業への関心を深める。					
		産業構造の変化 生活産業の発展	マーケットリサーチの実施と発表	2	産業の発展に伴う産業構造の変化と進展について理解する。					
6月	第3章生活産業と職業	わが国の食生活の変化 現代の食生活とその課題 食品産業の発達	食に関する意識や価値観、外食の実態調査	2	外食産業を中心に、食生活関連産業の意義と役割を理解する。	外食産業などにおける商品開発やメニュー開発、調理などの方式、販売やサービスの方法などに関心をもち、	産業現場などの見学、調査などの学習活動の中で、自分なりに課題を見つけ、解決を目指して考え、工夫している。	産業現場等の見学、調査などについて、計画を立てて実践するとともに、学習活動のレポートをまとめたり、発表したりすることができる。	食生活が変化している実態について、身近な生活とかわらせて理解している。	学習プリント 実習ノート ロールプレイング・調べ学習の取組 レポート 授業評価表
			商品開発、販売・サービスのロールプレイング	2						
			商品開発、販売・サービスのロールプレイング	2	食生活関連産業に関心をもち、各職業ごとに種類や仕事の内容を理解し、求められる資質について考える。					
		前期中間考査 テスト返却 授業評価 食生活関連産業と職業	食に関する職業・資格の調べ学習	1	就業状況や各種資格取得の方法を理解する。					
7月			有資格者による講演	3						

9月		<p>わが国の衣生活の変化 わが国のファッション ビジネスの始まり 女性のライフスタイル の変化とファッション 感性の時代とファッ ションビジネス エコロジー意識の高ま りとファッション ハイテクノロジーとフ ァッション 高齢化とファッション 国際化とファッション ビジネス 衣生活関連産業の職業 と資格</p> <p>前期期末考査 テスト返却</p>	<ul style="list-style-type: none"> インターネットによる情報収集と活用 衣に関する要求と職業に関する討議 ユニバーサルファッションの企画と製作 マーケティングリサーチ ファッション関連職のロールプレイング 	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アパレル産業や衣類販売を中心に、衣生活関連産業の意義と役割を理解する。 ・既製衣料の販売状況等から、人々のファッションに対する関心が高まっている実態を理解する。 ・衣生活関連産業に関心をもち、各職業ごとに種類や仕事の内容を理解し、求められる資質について考える。 ・就業状況や各種資格取得の方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル産業における商品の企画、生産、販売方法などに関心をもって いる。 ・デザイナー、パタンナーなどのファッションに関連する職業や資格について関心をもち、調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場などの見学、調査などの学習活動の中で、自分なりに課題を見つけ、解決を目指して考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場等の見学、調査などについて、計画を立てて実践するとともに、学習活動のレポートをまとめたり、発表したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションに対する関心が高まっている実態について理解している。 ・アパレル産業等の意義と役割、関連する職業に必要な知識や技術、資格などについて理解している。 	<p>行動観察 学習プリント 実習ノート ロールプレイング・調べ学習の取組 レポート 実習ノート</p>
		<p>10月</p> <p>住まいとは何か 伝統的住生活からの変化</p> <p>現代の生活・生活課題 と住まい 住生活関連産業の職業 ・資格</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅に関する各種調査 ・生活行為と必要な設備に関する調査 ・テーマ別学習 ・住に関する資格と職業についての調査・戦前戦後の資料によるテーマ別調べ学習 	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インテリアコーディネータなどを中心に、住生活関連産業の意義と役割を理解する。 ・住宅に関する各種調査などから、人々の意識が変化し住居に対する関心が高まっている実態を理解する。 ・住生活関連産業に関心をもち、各職業ごとに種類や仕事の内容を理解し、求められる資質について考える。 ・就業状況や各種資格取得の方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションの模様替えや、住宅のリフォームなどに関心をもって いる。 ・インテリアプランナー、インテリアコーディネーターなどの住生活に関連する職業や資格について関心をもち、調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場などの見学、調査などの学習活動の中で、自分なりに課題を見つけ、解決を目指して考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場等の見学、調査などについて、計画を立てて実践するとともに、学習活動のレポートをまとめたり、発表したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住意識が変化し、住居に対する関心が高まっている実態について理解している。 ・インテリア産業の意義と役割、関連する職業に必要な知識や技術、資格などについて理解している。 	<p>行動観察 学習プリント 事例研究レポート 実習ノート</p>
		<p>11月</p> <p>12月</p> <p>ヒューマンサービスとは 日本の社会福祉のあゆ み 求められるヒューマン サービス</p> <p>後期中間考査 テスト返却 ヒューマンサービス関連分野の職業・資格</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンサービス従事者の講演 ・訪問介護員等のロールプレイング ・各種関連施設等の見学・実習 	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービス、保育所や児童福祉サービス等の意義や役割について理解する。 ・ヒューマンサービス関連産業に関心をもち、各職業ごとに種類や仕事の内容を理解し、求められる資質について考える。 ・就業状況や各種資格取得の方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士や保育士などのヒューマンサービスに関連する職業や資格について関心をもち、調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場などの見学、調査などの学習活動の中で、自分なりに課題を見つけ、解決を目指して考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場等の見学、調査などについて、計画を立てて実践するとともに、学習活動のレポートをまとめたり、発表したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に伴ってヒューマンサービスの需要が拡大している実態について理解している。 ・高齢者福祉サービスや児童福祉サービス等の意義と役割、関連する職業に必要な知識や技術、資格などについて理解している。 	<p>行動観察 学習プリント 事例研究レポート 実習ノート ロールプレイング・就業体験取組</p>
1	第4章	職業に就き、働く意義	1	・自分の適性を知り、将来の職業に必要な資質や能力を理解する。	・専門科目の学習と職業生活とのかわりや、職業と職業資格について関心をもち、調べたり学習プランを立てようとしている。	・専門科目の学習と職業生活とのかわりや、職業と職業資格について関心をもち、調べたり学習プランを立てようとしている。	・職業資格の取得方法などについて調べたり、進路目標に応じた学習プランを具体的に検討することができる。	・職業・勤労の意義、専門科目の学習と職業生活とのかわり、職業における職業資格の意義や取得方法について、自分の進路目標とかわらせて理解している。	行動観察 学習プリント 高校生活の目標（学習プラン） 年間の反省 授業評価表
2	職業生活と自己実現	職業と自己実現	1	・職業資格の意義について理解し、将来のスペシャリストを目指した学習プラン作成し、自己実現に合わせた専門科目の学習への関心と意欲を高める。					
3	職業生活と自己実現	社会の変化と職業生活	3						
		将来設計と進路計画の立案	4	・将来設計と進路計画の立案					
		学習計画の立案	4	・今後の学習プランの立案					
		生活産業基礎の授業を終えて 授業評価	2						
		後期期末考査	1						
合計時間数			70						

3 单元ごとの指導と評価の計画

1 科目の目標

生活と産業とのかかわりについて理解させ、生活に関連する職業などへの関心を高めるとともに、必要な知識と技術を進んで習得しようとする意欲と態度を育てる。

2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
生活と産業とのかかわりや生活に関連する職業について関心をもち、生活関連分野のスペシャリストとして必要な知識と技術を進んで習得しようとする意欲と態度を身に付けている。	生活と産業とのかかわりや生活産業と職業に関する学習を通して、家庭に関する学科のより専門的な学習と卒業後の進路について思考を深めている。	生活と産業とのかかわりや生活産業と職業に関する学習活動を計画し実践するとともに、その成果を的確に表現する。	生活と産業とのかかわり、生活産業の意義と役割、生活に関連する各分野の職業について理解している。

3 「(4) 職業生活と自己実現」(内容のまとめりごと)の評価規準

内容のまとめりごとの目標

職業生活が自己実現につながることを理解させ、専門科目の学習と職業生活のかかわりや、職業における職業資格の意義について考えさせ、職業資格の取得や将来のスペシャリストを目指した学習プランをたてこれからの学習への意欲を高めさせる。

内容のまとめりごとの評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
専門科目の学習と職業生活とのかかわりや、職業と職業資格について関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	専門科目の学習と職業生活とのかかわりや、職業と職業資格に関する学習を通して、将来の職業生活と進路選択について思考を深めている。	職業資格の取得方法などについて調べたり、進路目標に応じた学習プランを立てたりすることができる。	職業・勤労の意義、専門科目の学習と職業生活とのかかわり、職業における職業資格の意義や取得方法について理解している。

生活産業基礎

<はじめに> 生活産業基礎を学ぶに当たって

単元の目標

生活産業基礎を学ぶ意義と、これからの専門的学習とスペシャリストへの道の関連について理解させ、生活産業のスペシャリストを目指す意欲をもたせる。

単元ごとの評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・生活産業基礎をはじめとする専門科目の学習と職業生活とのかかわりや、職業と職業資格について関心をもち、学習プランを立てようとしている。	・生活産業の従事者に求められる資質について深く考えている。	・本学科の3年間の学習内容から、自分の就きたい職業にむけ、3年間の学習プランを立てることができる。	・生活産業基礎を学ぶ目的、生活産業の内容と社会的意義、生活産業で働く人に求められる資質・能力について理解している。

授業時間ごとの主な内容

4 職業生活と自己実現			
	主な学習内容	主な学習活動・具体的評価規準	評価方法
1 時間	生活産業基礎を学ぶ目的 生活産業とは	生活産業基礎を学ぶ目的及び自分の生活とのかかわりから生活産業とはどのようなものか理解する。【知】 ・生活産業に関する認識調査 ・各自の生活を振り返り、生活産業に関するサービスの利用や、商品の購入例を調べる。	学習プリント（自分の生活と生活産業のかかわり） ペーパーテスト
2 時間	生活産業で働く人に求められること	生活産業の従事者への聞き取り調査から、生活産業の従事者に求められる資質について考察している。【思】	学習プリント（聞き取り調査）
3 ・ 4 時間	生活産業のスペシャリストへの道	専門科目の授業を参観することによって、学科・類型の学習内容を理解する。【知】 専門科目の学習と職業生活とのかかわりや資格取得、ボランティア活動などに関心をもち、学習プランをたてようとしている。【関】 生活産業基礎の学習を基礎として、3年間を見通した専門的学習の学習プランを立てることができる。【技】 ・専門科目の学習内容、学校家庭クラブ活動及びボランティア活動を含め、3年間を見通した学習プランを立案する。	学習プリント（学習プラン） ペーパーテスト

生活産業基礎
 < 授業指導案例 >

教科(科目)	生活産業基礎	単元名	第4節 職業生活と自己実現	
本時主題	3 生活産業のスペシャリストにむけて		(4時間目 / 4時)	
本時の目標	本学科について理解し、自分が将来就きたい職業に向けて、これからの3年間をどのように学んでいったらよいか学習プランを立てる。			
過程	指導内容	学習活動	評価について	教師の指導
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・スペシャリストに向けて ・本時の目標 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の類型ごとの授業見学でわかったこと気付いたことを発表する。 ・前時までの学習を結びつけて、この学科で3年間どのように学んでいくか学習プランを立てることが目標であることを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観の際、先輩がどのような学習をしていたか思い出させる。 ・類型の教育課程をわかりやすく図式化したものを示す。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・学科・類型の学習内容 ・学習プランの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科・類型の教育課程を理解し、そこで学ぶ専門科目の種類と内容や各種コンクール、検定、資格取得状況を理解する。 ・専門科目の学習と職業との関連を考えながら、3年間を見通した学習プランを立てる。 <p>参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩たちの課題研究レポート ・家庭科技術検定資料 ・資格取得の一覧 ・学校家庭クラブ活動など 	<p>【評価規準 関】 専門科目の学習と職業生活とのかかわりや資格取得、ボランティア活動などに関心を持ち、学習プランをたてようとしている。 <評価方法> 学習プリント、行動観察</p> <p>【評価規準 技】 生活産業基礎の学習を基礎として、3年間を見通した専門的学習の学習プランを立てることができる。 <評価方法> 学習プリント</p>	<p>< Bを実現するための指導 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望する職業に就くために学習する専門科目について知らせ、職業との関連を理解させる。 ・検定、資格取得、各種コンクールについて知らせる。 ・事前に学校家庭クラブ活動の実際と自分でできるボランティア活動を調べ付箋に記入させておく。 ・資料を数部ずつ用意する。 ・机間指導をする。 <p>< Cへの手だて ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画が進んでいない生徒については、将来の夢や高校時代にやりたいことを聞き、その実現へのアドバイスをする。 ・この時点での学習プランを掲示し、他の生徒の学習プランを参考にさせる。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が就きたい職業の実現にむけ、必要な知識・技術などについて再確認をし、これからの学習への意欲を高めている。 ・自己評価を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・この学習プランは生活産業基礎を学習していく中で、手直しをしていくことを確認する。 ・学習プランを教室掲示し、他の生徒の学習プランから学ばせる。

【参考】学習プリント「学習プラン」

学習プラン 夢の実現に向けて、わたし()は3年間がんばります！ 私の将来の夢は《 》

	学習する科目(特に力を入れたいこと)	資格取得・コンクールへの挑戦	家庭クラブ活動	自分自身を高めるためにやりたいこと (校外活動・見学・訪問など)
1年				
2年				
3年				

生活産業基礎

4 「(1)生活と産業」(内容のまとめりごと)の評価規準

内容のまとめりごとの目標

家庭生活の変化に気付き、食生活、衣生活、住生活、家庭経営、保育などの生活と、それらを支える産業とのかかわりを理解させる。

内容のまとめりごとの評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
衣食住などの生活と様々な産業とのかかわりについて関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。		衣食住などの生活と様々な産業とのかかわりについて調べ、まとめたり発表したりすることができる。	家庭生活の変化に気付き、衣食住などの生活が様々な産業に支えられていることを理解している。

<生活と産業> 生活と産業とのかかわり

単元の目標

産業の分類を理解させるとともに、食生活、衣生活、住生活、家庭経営、保育などの生活が様々な産業に支えられていることを理解させる。

単元ごとの評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・実際の生活や各種の調査などから、食生活、衣生活、住生活、家庭経営、保育などの生活と、それらを支える産業とのかかわりについて考えようとしている。		・家庭生活の変化、食生活、衣生活、住生活、家庭経営、保育などと様々な産業とのかかわりについて調べ、まとめたり発表したりすることができる。	・家庭生活の変化に気付き、食生活、衣生活、住生活、家庭経営、保育などの生活が様々な産業に支えられていることを理解している。

授業時間ごとの主な内容

1 生活と産業のかかわり			
	主な学習内容	主な学習活動・具体的評価規準	評価方法
第1時間目	産業とは 生活と産業	産業の分類について理解し、産業と生活とのかかわりを衣食住、保育などから調べまとめることができる。【技】 食生活、衣生活、住生活、家庭経営、保育などの生活が様々な産業に支えられていることを理解している。【知】 ・1日の生活を振り返り、どのような産業とかかわり、その産業に支出した金額を調査	学習プリント(調べ学習含む)

生活産業基礎

5 「(2) 社会の変化と生活産業」(内容のまとめりごと)の評価規準

内容のまとめりごとの目標

社会の変化に伴う価値観の多様化、消費者のニーズの多様化・高度化に対応して、家庭生活を支える生活産業が発展していることについて理解させる。

内容のまとめりごとの評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会の変化と価値観の多様化、産業構造の変化と生活産業の発展について関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	社会の変化と生活産業とのかかわりについて、具体例を通して思考を深めている。	社会の変化と価値観の多様化、産業構造の変化と生活産業の発展について調べ、まとめたり発表したりすることができる。	社会の変化と価値観の多様化、産業構造の変化と生活産業の発展について理解している。

<社会の変化と価値観の多様化> 社会の変化とライフスタイルの変化

単元の目標

社会の変化によって、人々のライフスタイルが大きく変化していることや、生活に関する価値観が多様化している現状を理解させ、それに伴って、生活産業に対する消費者の多様なニーズが生まれていることを理解させる。

単元ごとの評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・技術革新の進展、国際化、情報化、少子高齢化などの社会の変化について関心をもっている。 ・社会の変化に伴うライフスタイルの変化、価値観の多様化、消費者のニーズの多様化・高度化について関心を持ち、自分の生活とかかわらせて考えようとしている。	・技術革新の進展、国際化、情報化、少子高齢化などの社会の変化とライフスタイルの変化、価値観の多様化、消費者のニーズの多様化・高度化などのかかわりについて、身近な事例を通して考えを深めている。	・技術革新の進展、国際化、情報化、少子高齢化などの社会の変化と価値観の多様化について調べ、まとめたり発表したりすることができる。	・技術革新の進展、国際化、情報化、少子高齢化などの社会の変化について理解している。 ・社会の変化に伴うライフスタイルの変化、価値観の多様化、消費者のニーズの多様化・高度化について理解している。

授業時間ごとの主な内容

2 社会の変化とライフスタイルの変化			
	主な学習内容	主な学習活動・具体的評価規準	評価方法
第1・2時間目	経済の発展とライフスタイル 経済の発展 ライフスタイルの変化	終戦から今日までの社会の変化を、経済の面からとらえ、その動きを理解している。 【知】 経済の動きにともなって、ライフスタイルがどのように変化をしたかを調べ、関係をまとめることができる。【技】 ・経済(産業)の発展とライフスタイルとの関連による学校所在地近郊の地域マッ	経済の発展とライフスタイルの関連による地域マップ

生活産業基礎

		ブ作成	
第3・4時間目	豊かさとは多様なライフスタイル	生活に関する価値観が多様化している現状について関心を持ち、自分の生活とかがわらせて考えようとしている。【関】 生活に関する価値観が多様化している現状について各種白書や新聞記事等を調べ、「豊かさ」について考えている。【思】 ・地域の伝統的産業の変化(聞き取り調査) ・「豊かさを考える」の作文	「豊かさ」の作文 学習プリント(調べ学習) ペーパーテスト
第5・6・7時間目	社会の変化とライフスタイル	少子高齢化、男女共同参画意識の高まり、科学技術の進展、国際化による生活の変化とライフスタイルとのかかわりを理解している。【知】 社会の変化とライフスタイルの変化、価値観の多様化、消費者のニーズの多様化・高度化などのかかわりについて、身近な事例を通して考えを深めている。【思】 変化に伴って、生活産業に対する消費者の多様なニーズが生まれていることを関連づけて表現することができる。【技】 ・近年の時代背景とライフスタイル、消費者のニーズの関連図作成 ・理想とするライフスタイルと必要とする物資・サービス	関連図 学習プリント ペーパーテスト

< 産業構造の変化と生活産業の発展 > 産業構造の変化と生活産業の発展

単元の目標

社会の変化に伴い、経済のサービス化・ソフト化など産業構造が変化していることや、家庭生活を支える生活産業が発展している状況を理解させる。

単元ごとの評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・社会の変化に伴う産業構造の変化と生活産業の発展について関心をもっている。	・産業構造の変化と生活産業の発展について、考えを深めている。	・産業構造の変化と生活産業の発展について調べ、まとめたり発表したりすることができる。	・社会の変化に伴う産業構造の変化の概要について理解している。 ・消費者の多様なニーズに伴う、生活産業の発展の状況について理解している。

授業時間ごとの主な内容

3 産業構造の変化と生活産業の発展			
	主な学習内容	主な学習活動・評価規準	評価方法
第1・2時間目	産業構造の変化 生活産業の発展	社会の変化に伴い、経済のサービス化・ソフト化など産業構造の変化の概要について理解している。【知】 産業構造の変化と生活産業の発展について、考えを深めている。【思】 生活産業の発展について調べ、各分野ごとの発展状況をまとめたり発表したりすることができる。【技】 ・マーケットリサーチの実施と発表	学習プリント(調べ学習) 生活産業の各分野の発展状況のレポートと発表 ペーパーテスト

生活産業基礎
 < 授業指導案例 >

教科(科目)	生活産業基礎	単元名	第2節 社会の変化とライフスタイルの変化	
本時主題	3 社会の変化とライフスタイル (5時間目/7時)			
本時の目標	少子高齢化による社会の変化によって、ライフスタイルが大きく変化していることを理解し、そのかわりについて考える。 社会の変化に伴って、生活産業に対する消費者の多様なニーズが生まれている状況を理解し、その関連を表現する。			
過程	指導の内容	学 習 活 動	評価について	
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> データを読む 本時の目標の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 表示されたグラフは何を示したものであるかを考え発表する。 グラフは“年齢3区分別人口の割合の推移”を示し、子どもの割合は低下し、高齢者の割合は上昇していることを知る。 少子高齢化による社会の変化とライフスタイルのかわり、それに伴う消費者のニーズについて学ぶことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフはプロジェクト及び学習プリントに示す。 グラフは学校間ネットワークを活用し、総務省統計局統計センターホームページのものを示す。 本時の目標の確認をする。 	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のライフスタイルは 単身者やDINKSのライフスタイルは ライフスタイルの変化と生活産業の関連 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のライフスタイルについて学習プリントに記入したり発表したりする。 健康志向、趣味、旅行、生涯学習、堅実な消費行動、介護関係など 高齢者をターゲットにしたシルバー産業について、インターネットで“高齢者向け”、“シルバーファッション”等をキーワードに検索する。 検索結果の件数や範囲が多岐にわたっていることに気づき、シルバー産業が盛んであることを知る。 東京巣鴨の様子をVTRで視聴し、今後のシルバー産業についての意見と感想を書く。 単身者やDINKSのライフスタイルを考える。 子育て支援や幼児教育が求められていることを知る。 インターネットで“ぎふ子どもいきいき夢プラン”の概要と幼児教育のいろいろを調べる。 高齢者やDEWKS、子どものライフスタイルとその生活を豊かにするため必要とされる生活産業との関連図を考え整理する。 	<p>【評価規準 思】 少子高齢化と人々のライフスタイルとのかわりについて考えている。 <評価方法> 学習プリント、行動観察</p> <p>【評価規準 技】 ライフスタイルの変化に伴い、生活産業に対する消費者の多様なニーズが生まれている状況を理解し、その関連を表現している。 <評価方法> 関連図</p>	<p>< Bを実現するための指導 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生活を連想させ、経済的、時間的なゆとり、健康面、人生経験の豊富さから考えるように助言する。 男女ともに仕事と家事・育児を両立でき、子育てに夢のもてる社会にするにはどうしたらよいか考えるよう助言する。 関連図は少子高齢化と特に高齢者や単身者、DINKS、DEWKS、子どものライフスタイルとのかわりや、そのライフスタイルに必要なとされる生活産業の関連について整理させる。 <p>< Cへの手だて ></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者のライフスタイルについては、高齢者の生活の特徴を思い出すようにアドバイスする。 VTRをもう一度視聴させ、感想を促す。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ライフスタイルの変化に伴い、生活産業に対する多様なニーズに対して敏感に対応していく感性や情報処理能力が必要であることに気付く。 少子高齢化がますます進行していく中で、ライフスタイルはさらに変化することを理解する。 自己評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連図が未完成の場合は次時までの課題とする。 	

生活産業基礎

< 参考資料 1 >

講演を聞いての感想
1年 組 番 氏名

1 講演を聞いての感想

2 関連産業の仕事に必要なと思われる資質について確認したことをまとめよう

職業	資格・免許	適性や能力

3 職業生活で大切なこと

4 高校生活を送る上で大切なこと

< 参考資料 2 >

取材用紙

地域の企業や商店を見学し、そこで働いている人に、主な仕事の内容や楽しさ・厳しさをインタビューしたり、提供されている商品やサービスについて調べよう。

訪問見学先の事業所名											
住所											
電話番号											
訪問日	平成	年	月	日	曜日	時	分	～	時	分	まで
取材内容・提供している商品やサービス											
インタビュー	仕事内容	楽しさ	厳しさ	きっかけ・生きがい・悩みなど							
さん											
さん											
取材の感想、学んだこと、自分の今後の生き方など											

取材にあたっての注意事項：事前に依頼文を届け、了解を得ること。礼儀正しくまじめに聞くこと。人格を傷つけたり、職業を蔑視するような発言には気を付けること。

< 参考資料 3 >

ロールプレイング・疑似体験などの相互評価表

関連産業分野の商品の開発のプレゼンテーションや販売のロールプレイングについて評価しよう。

	発表班	班
--	-----	---

1 開発商品のPR

開発のねらい（ターゲットやコンセプトなど）について	セールスポイント
発表内容	発表内容
私の意見	私の意見
プレゼンテーションの工夫について	感想（気付いた点）
評価	
1 2 3 4	

2 販売のロールプレイング

商品のPRは適切であったか。	私の意見	1	2	3	4
接客態度はよかったか。	私の意見	1	2	3	4
接客用語は適切であったか。	私の意見	1	2	3	4

3 関連産業分野に必要な資質能力は

--